

令和4年度第1回 豊明市福祉有償運送運営協議会 議事要旨

- ◇日 時 令和4年8月4日（木） 午後2:00～3:15
- ◇場 所 豊明市共生交流プラザ「カラット」北館3階 活動室1
- ◇出席者 樋口恵一、本田有、石川優、田中英雄、竹中暢康（代理）、
松永充生、中村泰正
- ◇欠席者 加藤充子
- ◇運送団体 特定非営利活動法人くるみの会 堀田美香
- ◇事務局 伊神竜一、近藤有紀子、藤弘美緒、夏目和茂（以上、敬称略）
- ◇傍聴者 無し
- ◇議 題 (1) 運送団体における福祉有償運送の現状と輸送実績の報告
について
(2) 料金体系の変更登録について

議題に入る前に

- 1 委員8名のうち7名出席のため会議は成立する事を報告。
- 2 新たな任期の会長として樋口委員を再任。

議 題

(1) 運送団体における福祉有償運送の現状と輸送実績の報告について

運送団体から、急激な燃料費の高騰などにより法人全体の経営悪化を招いている状況を説明する。

質疑・応答等

タクシー協会の代表委員：

季節運賃としての冷暖房費は利用者にとって分かりやすいものとなっているのか。一律にした方がいいのではないか。

運送団体：夏季と冬季は学校がない日もあり、燃費が悪く採算が取れない時期なので設定した。一律にしてしまうとご家族の負担が増えてしまう事を憂慮した。

(2) 料金体系の変更登録について

運送団体より、福祉有償運送における料金体系の変更内容について説明する。

(質疑応答など議論に(2)料金体系の変更登録についての内容が出てきたため、会長が議論を深めるべく先に(2)の説明を求めた。従って、以後は議題(1)と(2)における質疑応答となる。)

タクシー事業者の代表委員：

冷暖房費を運賃に計上するのはどうか。他の事例としては見たことがない。

中部運輸局の代表委員：

他の事例では冷暖房費を上乗せするのではなく、それを含めた形での料金設定となっているのだと思われる。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

タクシー料金では、冬季特別加算として2割増の料金体系を取っている北海道などがある。それはその地域のタクシー料金と比較し運賃を決めるものであるが、この地域(愛知)ではそういう制度がないので、通年でおしなべての料金設定が適当であると考えます。

あと現行料金表の「港特別支援学校への送迎に限定」という表記は省かれるのか。また運送団体は今利用している方が通学以外で利用したいという要望に応えたいのか、それとも同学校に通っている親が自分のところもお願いしたいという要望に応えたいのかを確認したい。

運送団体：地域の学校に通わせている方が、雨の日など地域の学校に送迎するため利用したいという依頼があった。しかしそれは福祉有償運送の意義に合致しないので断った。

あくまでも港特別支援学校へ通わせてる親を支援したいというスタンスでやっている。

現行料金表の「港特別支援学校への送迎に限定」という表記も残していく。

タクシー協会の代表委員：

10kmまで500円という事は、2kmでも500円なのでタクシー料金の2分の1に肉薄してしまう。

運送団体：あくまでも1km単位で推移していく料金表となっている。つまり2kmなら100円である。しかし港特別支援学校への送迎に限定し

ているため、現実には20kmしか有り得ない。

タクシー協会の代表委員：

実費が燃料代だけという事になると、無償運送になりはしないか。
運送団体はそれで運営していけるのか。

運送団体：放課後等デイサービスという事業で、帰りの送迎を使えば愛知県より1回17,000円の補助があるので、これで赤字を回避している。あと教育委員会に陳情して、全てではないが修学奨励費が返金されたりもする。

タクシー事業者の代表委員：

港特別支援学校へ通っている方は、豊明市にはどれくらいいるのか。

事務局：小中合わせて10人ほどである。条件に合う方はスクールバスで通学している。

タクシー事業者の代表委員：

燃料代だけだと福祉有償運送じゃなくなってしまう。そこで、利用者が増える目算はあるのかを聞きたい。

運送団体：利用希望者はいる。しかし車椅子が3台乗せられる車に2台しか乗せておらずキャリーバックも乗せなければならない。また運転手と子供をケアできる添乗員も乗らねばならないため、台数を増やすと赤字となってしまう。

事務局：地域の学校でも港特別支援学校でも、より重度の障害の方を受け入れるという方向に変わってきている。運送団体側が現状で限界だと考えているならば、これ以上利用者が増える事は考えにくいのではないかと思う。

また福祉有償運送の他、移動支援も併せて利用できるとしているところで、利用の範囲を拡大して認めているという状況である。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

資料の「運送の対価経緯」については、コストが上回っている事を正直

に書かれてはいかがか。また冷暖房費については季節変動がない地域なので、案分してキロ当たり単価に加算しておくなどした方がいいのではないか。

中部運輸局の代表委員：

料金表についても、1 kmごとにいくらだというような分かりやすい表に修正した方がよい。

申請月の事になるが、協議会で認められた対価という事しかうたわれてないので、実質的にはこの協議会で認められた時点での適用となる。

会長：これまでの意見は、まず経緯のところを正直に明確に記載する事と、季節運賃は通年でのご検討をいただく事、そして料金表は1 kmごとの表記にする事をご検討いただく事とする。
更にこれらの修正は書面表決で皆さんにお諮りし承認を得るものとする。

運送団体：運送対価の変更は9月1日にこだわらないが、早めの承認をお願いしたい。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

運営協議会の要綱には福祉有償運送がいかに必要かを確認する項目があるが、本日の協議は料金体系の変更に終始した。本来なら豊明市の福祉対策や交通輸送の状況等を提示してもらい、豊明市に福祉有償運送がいかに必要であるかを協議しなくてはならない。

事務局：次回からは要綱に基づき、豊明市の全体的な状況を踏まえて議論していくように改めていく。

タクシー協会の代表委員：

今回の案件は障がい者であるが、高齢者も含めた全体的な交通輸送について考えていかなければならない。これだけの知識や情報を持っているメンバーが集う協議会なので、豊明市の現状を共有して議論すればもっと色んな面からアプローチできると思う。

会長：私に事前に協議いただければ、不足の事項などを予めお伝えする事が

できると思うので宜しくお願ひしたい。

では今回は、福祉有償運送の必要性があると理解し料金体系の変更を認めるものとする。但し、資料の修正後に書面表決により承認いただくという形にさせていただきたい。

あと高齢者福祉という立場から福祉有償の必要性について、社会福祉協議会より何かコメントをいただきたい。

地域福祉関係代表委員：

豊明市では高齢者が増えているが、福祉タクシーは高いという意見をよく頂戴する。社会福祉協議会では車椅子の専用車の貸し出しを原価を切る形で行っているが、今後も市民の方には情報を発信していきたい。

会 長：市内には送迎支援をしていきたいという地域はあるか。

市職員代表委員：豊明市に勅使台区があるが、そこでは地域の交通会議が開かれ、地域が主体となって高齢者を病院などへ送迎したいという機運が高まっている。また公共交通計画の中では、地域の協議体をどんどん作って身近な問題として考えてもらおうという計画も盛り込んでいる。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

福祉有償運送を高齢者が使えないかという考えについては、運送を請け負う団体が悲鳴を上げておろただでさえ大変なところへ、高齢者も対象としてしまうと破綻は確実である。福祉計画等に盛込んでおくなど、もっと持続可能になる事を考えなければならない。

会長：前回の協議会で、豊明市はこの運送団体以外の団体も発掘していきたいと話された記憶があるが、どのようにお考えか。

事務局：障害も介護も人手不足で、現状の福祉サービスを提供する事もままならない状態であり、とても新しい福祉有償にチャレンジする余力はない。なので福祉分野以外の業種が福祉有償に目を向けてくれるような機会を生み出す事が必要になってくる。

会 長：地域での支援の芽を見つけ出す必要がある。例えば送迎サービスを地

域住民同士で自家用車を用いて行ったり、重度障がいのある学生が学校へ通う際に、福祉事業者のみではなく地域で見守り支えあうような体制など。理想はそこから福祉有償運送の担い手に発展する形。豊明市の現在の政策の中から無理なく発展させ行えると良い。また今後移動に制約がある人はますます増える。今の福祉有償運送の担い手が疲弊しないよう、新たな支え手や取り組みを豊明市としてどう考えていくのかをここで協議できれば、本協議会がもっと有意義なものになる。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

タクシー業界全体でドライバーが不足しており、福祉有償運送の事業者もドライバー集めに苦慮し、事業が成り立たなくなる例が相次いでいる。タクシーは効率の悪い輸送だが、余剰を活用して効率を上げる方法も検討できるのではないか。地域の状況把握とともに、いかに効率を上げるかが重要。地元の公共交通機関やタクシー会社と福祉有償運送、行政が力を出し合い、ベストモデルを作ってほしい。

市職員代表委員：移動支援が必要な人は70代以降で免許を返納した人が多数を占め、福祉的要素が強くなっている。「チョイソコ豊明」の利用実績も右肩上がり伸びており、今後移動難民はますます増えるものと思われる。高齢者・障害者の視点から見た交通整備が不可欠なので、今後も委員の皆様にはご協力を頂きたい。